

報告テーマ:"WTO 体制下の地域統合(RTAs)における電子商取引(EC)ルールの動向と展望"

報告者:岩田伸人(いわたのぶと) 青山学院大学地球社会共生学部 教授

報告の趣旨:現在の WTO 加盟国間には、共通の電子商取引(Electronic Commerce)ルールが存在しない。途上国の多くは中国を含めて、内国民待遇原則の下でそれぞれに国内のルールを外国企業にも適用しているようである。先進国とくに米国を含む旧 TPP12 メンバー諸国は、データの越境移動自由化を前提にした電子商取引ルールをすでに幾つかの地域統合協定("改正 SAFTA", "日・モ EPA", "TPP11", "USMCA")の中に組み込んでいる。他方、WTO の改革案においても電子商取引/デジタル貿易のルール形成が展望されている。本報告では、これらの視点から RTA を制度面から整理し、今後に生じるであろう問題点を指摘したい。